

(別紙4(2))

事業所名 まるにグループホーム

目標達成計画

作成日: 平成30年3月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	一時性、非代替性、切迫性の書面の用意と職員への周知	現在、対象となる利用者はいませんが、「緊急やむを得ない場合」の検討することもあり得るので、職員が周知すると共に、書面を用意しておく	身体拘束についての説明を、改めてご家族様に説明し、「緊急やむを得ない場合」についての理解と協力をお願いする。	2ヶ月
2	10	月に一回程度は、個々の家族とコミュニケーションをとっているが、家族会を開催してません。G・H通信や便りの発行に繋がっていったらどうか。	毎月発行が理想ではあるが、まずは『1回/2か月』の便りを発行していただく。	面会や受診の付き添いに来るご家族も頻度が違うので、皆さんにG・Hでの生活の様子を知って頂けるよう、便りを発行していく。	随時 (H30年4月より)
3	33	重度化した場合や終末期のあり方について、本人、ご家族と話しをし、事業所で出来ることを十分に説明しながら、理解、協力をお願いしていく。	看取り実績はないが、ご家族の意見をはっきり聞き取り、事業所で出来ることを理解して頂く。協力医師、訪問看護事業所と連携していく。	協力医、訪問看護事業所にご家族のお気持ちを確実に伝え、医療行為が出来ない事業所での重度化、終末期について協力して頂く。	適宜
4	36	利用者様に対して、ややリードが強い面が見られる。声のボリュームやトーンに注意が必要である。	利用者様、職員同志、外部からの来客者等々、誰が聞いても「心地よい」と思って頂ける言葉使いをしていきましょう。	利用者様ひとり一人の生活の仕様(スタイル)が違うので、標準語、丁寧語を主として話す。又、地域性のある方言は、利用者にも受け入れてもらいやすいと思うので、知っている語については使っていきます。気が付いたらお互いに、注意しあいましょう。	1ヶ月以内 (会議にて)
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。